



テーハー式 マイクロ分注器 FHV Series

デジタル設定で精度の高いマイクロ分注器が完成しました。10 μ l以上から2ml程度までをカバーできる構造を持っています。専用のCPU(Central Processor Unit)を開発して、一括吸引・分割分注もでき効率の良い機能も保有しています。XY移動台と併用すれば更に人手を減らして高精度、高能率の分注作業が可能になります。

特 長

- 1 10マイクロでも、高い精度の分注ができます。
- 2 一括吸引で、分割して分注し、高能率です。
- 3 分注容量は、デジタル設定です。(0.1~999.9 μ l/ml)
- 4 分注容量の単位も、 μ lとmlの選択ができます。
- 5 最大分注量は、マイクロシリンジで変更できます。
- 6 吸引速度と吐出速度は各々10段階で選択できます。
- 7 分注回数は、デジタル設定です。(1~99回)
- 8 リモート入力でXY移動台も使用できます。

新製品



● FHV-1-1 (単動/100 μ l シリンジ)

仕 様

型式：FHV-1-□型

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 1. 駆 動 方 式 | パルスモーター・垂直動運転 |
| 2. 切 換 方 式 | 電磁弁方式 |
| 3. 分注液量範囲 | 取付けマイクロシリンジ容量~約1/5 |
| 4. 分注速度範囲 | 10段階選択可能 (60 μ m/分間=2~11秒) |
| 5. 液 量 精 度 | $\pm 2\%$ 以下 |
| 6. 接 液 材 質 | テフロン/ポリプロピレン/ガラス |
| 7. モ ー タ ー | パルスモーター 100W |
| 8. 駆 動 軸 | スクリュウ軸駆動式 |
| 9. 外 寸 | 約W135×D(170+40)×H320 μ m |

新製品



● FHV-5-5 (5連動/2.5mlシリンジ)

型式種類

FHV-□-□型

垂直動分注器

分注筒数

マイクロシリンジ番号

●分注筒本数

1~6

※連動マイクロシリンジ本数

●マイクロシリンジ番号

0 = 50 μ l 4 = 1.0ml

1 = 100 μ l 5 = 2.5ml

2 = 250 μ l 6 = (予備)

3 = 500 μ l 7 = 5.0ml

株式会社ヒラサワ

〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目24-7 TEL.03-3834-2331 FAX.03-3836-1140
 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原3-1-19-405 TEL.06-6399-6621 FAX.06-6399-6641



テーハー式 マイクロ分注器 FHV Series

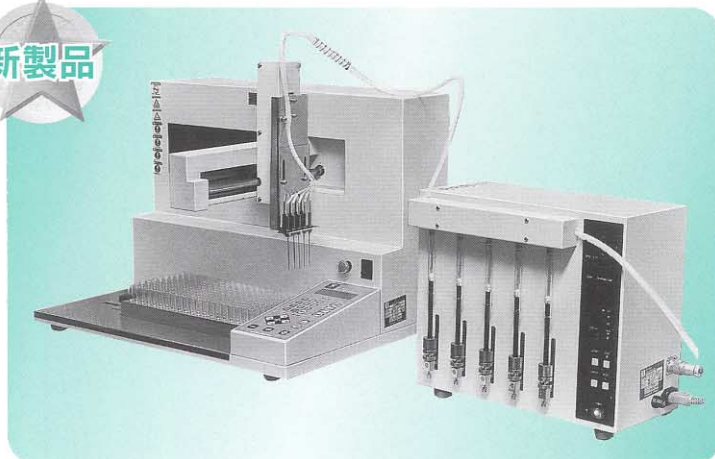
XY移動台の併用

マイクロ分注器の場合に必然的に容器が小さくなり、分注針は細くなります。容器に合せて分注針を移動するのに神経を使います、XY移動台と併用すれば効率よくミスのない分注操作を実現できます。是非、併せてXY移動台のご使用をご検討下さい。

人手を減らして高精度、高能率の分注作業が可能になります。

●右の製品は、5連・マイクロ分注器とXY移動台を併用しています。

- 1 5連式で効率が非常に高い。
- 2 5連の分注針移動でも対応します。
- 3 分注針の移動が均一で精度が良い。
- 4 ラックごと効率良く作業できる。
- 5 人為的なミスを大幅に削減できる。
- 6 人手が大幅に減らせます。
- 7 神経的な疲労を軽減いたします。



マイクロ分注器の動きの概要

マイクロ分注器のピストン部(吸子)は、回転運動を利用せず直接的に垂直運動をしています。又、自動弁は電磁弁方式(接液部材質テフロン)を採用しています。更に、専用CPUで運転されます。従って、分注を効率良く分注するため下記のような分注動作を致します。

分注操作に関する設定は、

- 1 運転のモード……………モード番号 [例] →2 一括吸引分注モード
- 2 分注容量の単位…………… $\mu\text{l}/\text{ml}$ [例] → μl
- 3 マイクロシリンジ容量……………前頁の番号 [例] →4 (1,000 μl = 1.0 ml)
- 4 分注容量……………希望の容量 [例] →300 μl

以上を設定すると分注動作は、

- 1 マイクロシリンジ容量と希望分注容量の設定値から計算して、希望分注容量でマイクロシリンジ容量を割った正数値の回数分を一括吸引します。
[例] →900 μl (3回分)を一括吸引。<分注容量200 μl だと1000 μl (5回分)を一括吸引>
- 2 そして、分注指令 (START押す/足踏スイッチ/XY移動台信号)ごとに希望分注容量を計算回数分注します。
[例] →300 μl を3回分注する。 <分注容量200 μl だと5回分注する>
- 3 計算回数の分注が終わると、1に戻り一括吸引をします。

この動作により吸引時間を規定回数省略して、分注効率を高めています。

※注意事項 →1.最大分注容量は、マイクロシリンジ容量と同じになります。

2.最小分注容量は、一括吸引量の10分割以下です。(回数が多いほど精度は低下する。)

株式会社ヒラサワ

〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目24-7 TEL.03-3834-2331 FAX.03-3836-1140
〒532-0004 大阪市淀川区西宮原3-1-19-405 TEL.06-6399-6621 FAX.06-6399-6641